



Daiwa House  
Group

2026年3月17日

報道関係各位

阿 見 町  
大和ハウス工業株式会社

## 茨城県阿見町と大和ハウス工業が 「災害発生時における支援協力に関する協定書」を締結

茨城県稲敷郡阿見町（町長：千葉繁、以下「阿見町」）と大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大友浩嗣、以下「大和ハウス工業」）は、本日（2026年3月17日）、「災害発生時における支援協力に関する協定書」を締結しました。



【DPL つくば阿見Ⅲ 外観】

### 1. 協定の目的

阿見町では、地震、局地的な豪雨や台風による洪水や停電等の様々な災害への備えとして、これまでに行政機関や事業者などと災害に関する協定の締結を行っています。

大和ハウス工業では、地震や豪雨などの災害発生時に近隣住民の安全・安心を守るため、開発した物流施設が所在する自治体と、「災害発生時における支援協力に関する協定」の締結を行っています。これまでに、全国 19 の自治体（物流施設 30 棟）と協定を締結<sup>※1</sup>し、実際に、住民の一時避難場所などとして活用してきました。

そしてこのたび、阿見町と大和ハウス工業は、マルチテナント型物流施設<sup>※2</sup>「DPL つくば阿見Ⅲ」（地上 3 階建て、敷地面積：50,043.51 m<sup>2</sup>、延床面積：84,609.72 m<sup>2</sup>）において、災害発生時の応急対策を円滑に遂行するために、同施設内の共用部分を一時避難場所や支援物資の一時保管場所として提供できるよう、「災害発生時における支援協力に関する協定書」を締結しました。

※1. 2026年2月28日時点。

※2. 複数の企業テナントが入居できる物流施設のこと。

#### 【主な締結内容】

- （1）本施設の共用部分を一時避難場所等として提供
- （2）本施設の未入居、未使用部分を支援物資の一時保管および集積場所として提供
- （3）本施設の未入居、未使用部分を駐車場として提供

### 2. 締結日

2026年3月17日（火）

### 3. 支援協力を行う物流施設「DPL つくば阿見Ⅲ」について

大和ハウス工業は、全国で BTS 型物流施設※3・マルチテナント型物流施設を開発し、これまでに 356 棟、総延床面積約 1,457 万㎡※4 の物流施設を手掛けてきました。茨城県においては、「DPL つくば阿見Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「DPL 境古河」など計 8 棟、総延床面積約 60.4 万㎡※5 となる物流施設の開発を手掛けています。

「DPL つくば阿見Ⅲ」は、2023 年 6 月に竣工したマルチテナント型物流施設です。首都圏中央連絡自動車道（圏央道）「阿見東インターチェンジ」出口より約 1.2km（車で約 3 分）で、圏央道から常磐自動車道などの高速道路にアクセスしやすく、交通利便性が高い場所に位置しています。また、東京都心部まで約 70km、成田国際空港まで約 40km と、国内外への物流をカバーできる立地です。

※3. Build to Suit のことで、特定のお客さま専用の物流施設のこと。

※4. 2025 年 9 月 30 日現在。施工中の物件含む。

※5. 2026 年 2 月 28 日現在。DPL 竣工済み物件に限る。



【広域地図】



【詳細地図】

#### ■建物概要

施設名	「DPL つくば阿見Ⅲ」
所在地	茨城県稲敷郡阿見町よしわら 2 丁目 16 番 3
敷地面積	50,043.51 ㎡ (15,138.16 坪)
延床面積	84,609.72 ㎡ (25,594.44 坪)
賃貸面積	76,519.80 ㎡ (23,147.23 坪)
構造・規模	SRC 造（一部 S 造）・耐震構造・地上 3 階建て
事業主	大和ハウス工業株式会社
着工	2022 年 3 月 15 日
竣工	2023 年 6 月 29 日

以上

お問い合わせ先		
広報企画部	東京広報グループ	03-5214-2112
	広報グループ	06-6342-1381